

ワシのかんさつシート

どうぶつこうえん
動物公園にいる 4 種類のワシをくらべてみよう！

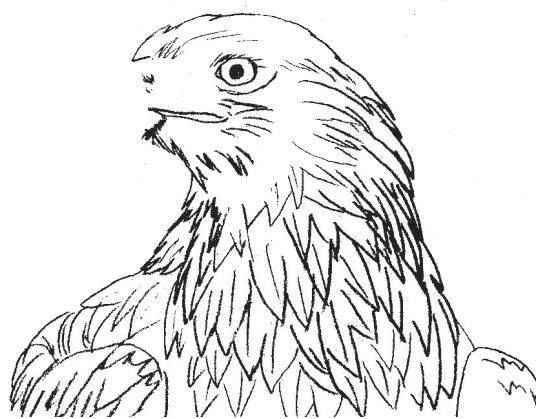
くちばしをかんさつ！ それぞれのくちばしを観察して、描きくわえよう。



エジプトハゲワシ



ヘビクイワシ



オジロワシ



イヌワシ

あし
肢をかんさつ！ 線でむすんでね。

なが
長い肢

いろ
ピンク色

手

足



いろ
ピンク色

手

足

しろ
白い羽で
おおわれている

手

足

手

足

ちやいろ
茶色い羽がある

手

足

手

足

エジプトハゲワシ

ヘビクイワシ

オジロワシ

イヌワシ

はつけん
発見したこと

も
ぬし
さが
くちばしの持ち主を探そう！

せん
線でむすんでね。



・フラミンゴ



・ハシビロコウ



・ルリコンゴウインコ



・アフリカヘラサギ

学校名

名前

ワークシートのねらい ワシの行動や体の特徴を観察することを通して、猛禽類への興味・関心を引き出すと共に、どのような生活をしているのか考えるきっかけとする。

和名	エジプトハゲワシ	オジロワシ	イヌワシ	ヘビクイワシ
				
分類	ワシタカ目 タカ科			ワシタカ目 ヘビクイワシ科
分布	南ヨーロッパ、アフリカ、西アジアのサバンナや砂漠、農耕地など民家近くにも生息しています。	ヨーロッパ、ユーラシア北部、日本の海岸、河川、湖沼などに生息しています。単独もしくはペアで生活し、冬季になると集団で休むことがあります。	ヨーロッパ、アジア、北アメリカ、北アフリカの開けた森林や草原などに生息しています。日本では天然記念物に指定されています。	アフリカ中部・北部のサバンナに生息しています。猛禽の仲間では珍しく地上をうろつき、エサをとります。
食性	小型のハゲワシで、大きなダチョウの卵に、口でくわえた石をぶつけて卵を割り、中身を食べます。動物の死がいを食べます。	サケなどの魚、カモや水鳥を捕まえて食べます。動物の死がいも食べます。	哺乳類、鳥類、爬虫類、動物の死がいなどを食べます。ウサギやヘビなどを捕まえて食べます。	和名はヘビを食べることに由来していますが、ヘビしか食べないわけではなく、昆虫、爬虫類、鳥類とこれらの卵、ネズミなどを食べます。
動物公園で与えているエサ	鶏頭、ヒヨコ、ウズラ、馬肉			

■ 狩猟技術は足とくちばしでチェック！

猛禽類の足の形は、獲物の大きさや狩りのし方を反映しています。それぞれの食性を比べながら、足やくちばしを比較してみましょう。

猛禽類の足には、前に3本、後ろに1本の指があります。これらの指には鋭い爪があり、獲物をつかまえたり、ちぎるのに役立ちます。また、鉤形のくちばしは、肉をひきちぎって食べるときに使います。

エジプトハゲワシは、道具を使う数少ない鳥のひとつです。ダチョウの卵を、石を落として割ります（右写真）。また、骨についた肉をつまみとて食べ、他の種が食べ残した死体を片づけます。

ヘビクイワシは、空から獲物を襲わず、地面を歩いて狩りをする鳥です。獲物をみつけると、近づいて強く踏みつけ、一度飛びのき、獲物の周囲を回って再び近づき、片足で強打してしとめます。この方法で、毒のあるヘビでも捕らえることができます。

オジロワシやイヌワシは、高い空から急降下して、両肢を前につきだし、体ごとぶつかるようにして獲物に襲いかかります。



■ 食物連鎖の頂点にいる猛禽類は地球環境のバロメーター

自然界の生態系のバランスは様々な生物が生息してはじめて保たれます。

イヌワシはクマタカなどと共にその分布域の森林生態系における食物連鎖の頂点に立ち、生態系のバランスを保つのに重要な役割を果たしています。言い換えるとイヌワシが生息できる森林は、獲物となる小動物も生息しており、自然豊かで生態系のバランスのとれた環境なのです。地球環境全体を見つめ、将来を考えると、イヌワシを含む野生動物をその生息環境と共に守っていくことが、私たちにとっても大切なことなのです。

* 飼育員のコラム 『猛禽類について』*

猛禽類は動物の捕食あるいは死がい食をする鳥の総称です。獲物を捕まえるための鋭い爪、つかむ力が強いあしの指（趾）、かぎ状に曲がったくちばしをもっています。

分類上はワシタカ類（260種）、フクロウ類（220種）、ハヤブサ類（65種）に分けられます。

ワシタカ類はタカの仲間（イヌワシ、オジロワシ、ハゲワシなど250種）、ミサゴ類（2種）、ヘビクイワシ（1種）、コンドルの仲間（7種）がいます。

